

1. 5月全国行事
- | | |
|-------------------|-------------|
| 1) 春の全国交通安全運動 | 5月11日～5月20日 |
| 2) ごみゼロの日 | 5月30日 |
| 3) ごみ減量化リサイクル推進週間 | 5月30日～6月5日 |
| 4) 禁煙週間 | 5月31日～6月6日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : 新入・転入者等の安全衛生心得

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 他社 事故・災害事例から : 溶接火花の飛散で塗装作業者が火傷

5. ヒヤリハット事例

2. 安全・衛生・防災の心得 : 新入・転入者等の安全衛生心得

～先ず ホウレンソウ(報告・連絡・相談)をしっかり～

・4月は新年度の始まりです。職場では協力会社等を含めて、人事異動や組織等の変更、新人・転入者の配属、作業体制や作業方法の変更などで人心が乱れがちです。職場内外の連絡調整やミーティング、ホウレンソウ(報告・連絡・相談)を徹底する必要があります。特に新人・転入者の安全作業は協力会社の社員も同様に、次の事項について徹底を図る必要があります。

- ①わからないことは必ず質問させる はじめはわからないで当たり前。わからないことは質問させて、1ステップずつ納得して経験を積むよう教育・訓練する。
- ②少しの異常でも上司に報告させる 作業中に機械や装置の調子に異常が発生したら決して自分だけで判断せず作業を中止し、先輩や上司に報告して指示を受けさせる。
- ③安全衛生ルールや作業手順を守らせる 職場の安全ルール等は過去に発生した事故や災害を防止するために定められていることを説明し、必ず守るように指導する。
- ④安全衛生活動に積極的に参加させる KYKや4S、リスクアセスメントなどの活動に取り組むように仕向ける。
- ⑤挨拶は明快に行わせる 特に始業時のミーティングの際には皆が積極的な態度で臨みチームワークを活性化させる。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

●平塚第二工場防錆工場

- ・ヒヤリハットをマップ化し危険箇所についての周知を図っている(更新)



●西日本技術センター(関西)

- ・ベルトサンダーは局排装置付のものに更新していた



4. 他社 事故・災害事例から : 溶接火花の飛散で塗装作業者が火傷

～火花の飛散距離が想定外～

(1)災害のあらまし

- ・改装中の工場建屋内部を塗装するため、1階で塗装業者の作業者が塗料を調合していたところ、他の業者が2階で機械取付けのため使用していた溶接の火花が落下してきて塗料に引火し、塗装作業者の着衣に着火、全身火傷で重傷を負ったものです。

(2)災害の主な原因

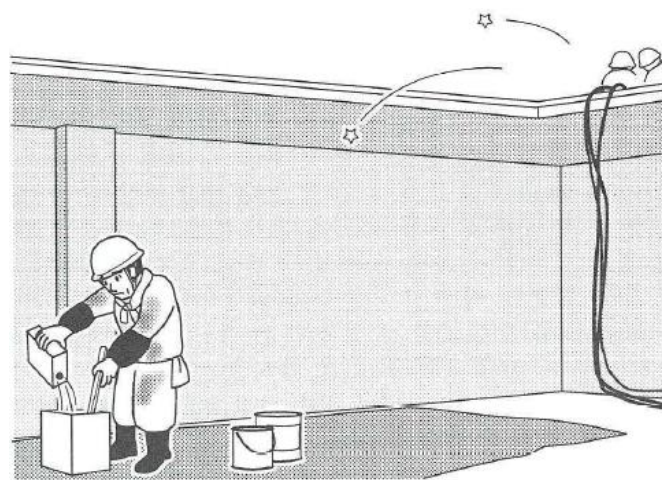
- ①溶接作業箇所と塗料の調合箇所が10m以上離れているので、溶接者は防災シート等を使用していなかったこと。
- ②塗料の調合作業者も溶接火花の危険を考えていなかったこと。
- ③塗料の調合缶からは可燃性蒸気が蒸発しており、爆発範囲になっていたこと。
- ④工事は混在作業にかかわらず、安全打合せ等を行っていなかったこと、など。

(3)同種災害の防止対策 例

- ①溶接・溶断の火花は思わぬ方向や距離に飛ぶことがあるので、飛散防止対策は厳重に行う。
- ②工事業者が混在しているときは、発注者を含め、関係者は事前に安全作業の打合せ、調整を行う。
- ③基本的に同一建屋のエリア内では火気使用と可燃性蒸気等が発生する作業は禁止する。
- ④作業者は常に危険を予知・予測して安全確保の行動や措置を行う。
- ⑤塗装作業の服装は、溶剤等が染み込んだ状態では着装しない、させない、など。

(4)環境安全部から

- ・火気を使用する作業では防災シートを使用し、火気監視人を定め、監視をすることが重要です。また、作業員に対して可燃物に対する教育も大切です。



5. ヒヤリハット事例

- ・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	午前10時頃
どこで	化成ラインで
何をしている時に	脱脂槽から、バスケットをクレーンにて上げ移動しようとした時に
どうなった	バスケットの足にエア配管が引っかかり、バスケットが回転しヒヤリした